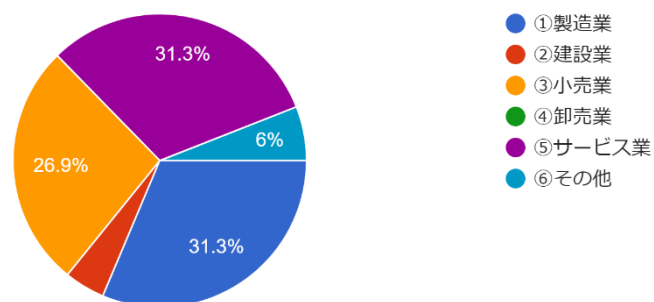


平成 30 年度定点景況調査【10 月分】

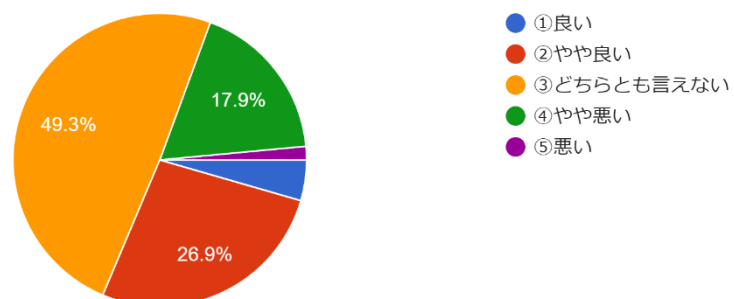
業種

67 件の回答



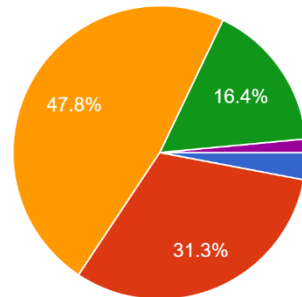
1. 今月の景気

67 件の回答



2. 今後2〜3カ月先は良くなると思うか

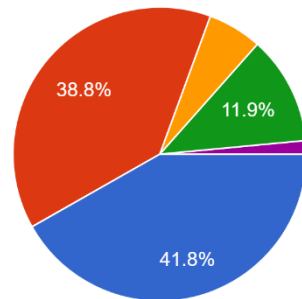
67件の回答



- ①良くなる
- ②やや良くなる
- ③変わらない
- ④やや悪くなる
- ⑤悪くなる

上記1、2のようになると思われたのはなぜか

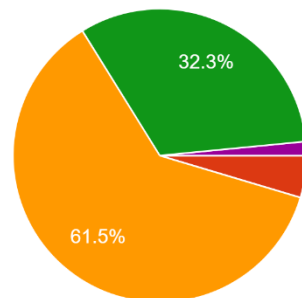
67件の回答



- ①客数の動き
- ②受注量・価格の動き
- ③同業他社の動き
- ④取引先の動き
- ⑤求人数の動き

4. 周り（自身を含め）の消費意欲

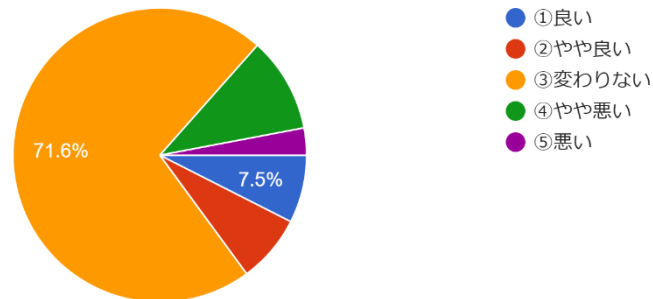
65件の回答



- ①高い
- ②やや高い
- ③変わらない
- ④やや冷え込んでいる
- ⑤全く冷え込んでいる

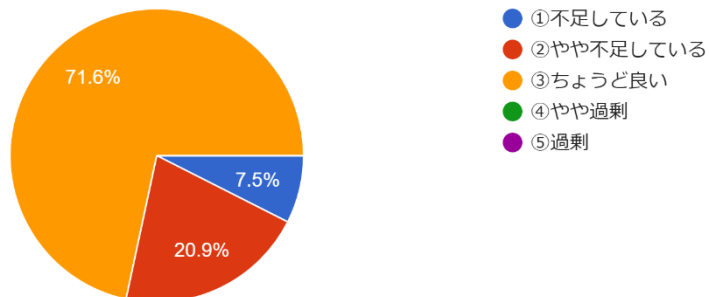
5. 自社の資金繰りは順調と思われるか

67 件の回答



6. 自社の従業員の過不足感

67 件の回答



7 自社の経営上の問題点や困っていること等 25 件の回答

受注の動きが良くなってきている。働き方改革への対応について、現状とのかい離をどう解決するかが課題。(建設業)

年内受注は増加の見通し。材料・油・工具類の価格が上昇しているが、売値への価格転嫁が難しい。実習生受け入れの法規制緩和に伴い、提出書類等が増加。(自動車部品製造業)

10 月はトップシーズンであるが売上前年比 10% 減。若手人材不足、従業員が高齢化し健康面や体力など不安材料も増加。(旅客バス運送業)

季節的に例年販売量が増えるため、売上増に期待。(養蜂業)

売上は全体で前年比 20% 増だが、若年世帯の契約は増えない。(新聞販売業)

受注は順調に推移しているが、仕入単価は上昇継続中。人手不足は深刻。(金属加工業)

昨年より売上が好調な企業が多い。消費税軽減税率制度やインボイス保存方式等について具体的に理解ができてなく、準備不足な企業が多い。(業種組合)

売上前年同月 9%減だが、前月より回復。(小売業)

新規の製作依頼が増加。一部材料(鋼材用)に入手遅れが生じている。(金属加工業)

人手不足、事業承継(後継者なし)など依然課題(タクシー業)

資材・燃料価格等が高騰し利益が薄くなってきている。従業員が高齢化し技術伝承が課題。(木工業)

建具受注は低調、年末の神棚受注が増加(木工業)

取引先からの見積り依頼増、今後の受注に期待。(建具製造業)

業界全体の動きが鈍い。(木工業)

スタッフの増員がないため売上高も変わらない。(美容業)

外国人ツアー客など客数前年比 20%増。(飲食店/うなぎ)

来店者が減少、ネット販売への切り替えのタイミングやその後の利用数等判断が難しい。(酒販業)

住宅建設工事の遅れ(人手不足)により、見積もりのあった部材加工の受注も先延ばしになっている。先行き不透明。(木工業)

客数は変わらないが前向きな案件が増加(不動産業)

需要は伸びているがネットショップの台頭で売上ダウン傾向。通販等で取引されない(流通の少ない)

商品を主に揃えている。愛好家や価値の分かる客には問題ないが、新規客やホームセンター等との取引は他社と価格を比較されることが多くなった。(山野草卸売業)

作れば売れるという状態が依然として続いている。研修生やバイトなどあらゆる方法で労働力を補っているが、全く人手が足りない。(農業生産法人)

例年出荷が無くなる時期。年末にかけて商社やホームセンターからの工場視察依頼が増加、新規取引先増加に期待。(園芸用土製造業)

水稻栽培や植物工場の波は予想以上に早く広まりそう。土を使わない農耕法が主流になりつつあり、農家からの受注も減少。(園芸用土製造業)

原料が調達できない時期なので、業界全体的に商品の動きがない。輸出向け商品は好調だが業界全体では専門店の消費需要の低迷で国内売上は減少。(園芸用土製造業)

受注は前年比 10%程度増加見込み。(金属部品加工業)

.